

1. 評価結果概要表

作成日

平成 20年 8月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	4070801164		
法人名	株式会社 ホームケアサービス		
事業所名	グループホーム 青葉の里		
所在地	福岡市東区青葉 6 - 4 3 - 1 1 〒813-0025 (電話) 092-691-8263		
評価機関名	社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会		
所在地	福岡市中央区荒戸3-3-39		
訪問調査日	平成20年7月25日	評価確定日	平成20年8月11日

【情報提供票より】(平成 20年 6月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 2 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人 常勤	8 人 非常勤	人 常勤換算 6.7 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての～	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(50,000 円)	無		
保証金の有無(一時金を含む)	有(円)	有の場合償却の有無	有 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	450 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日あたり		1,300 円程度	

(4) 利用者の概要(6月 1日現在)

登録人数	9 名	男性	名	女性	9 名
要介護 1	2 名	要介護 2	4 名		
要介護 3	2 名	要介護 4	1 名		
要介護 5	名				
要支援 1	名	要支援 2	名		
年齢	平均 85 歳	最低 77 歳	最高	90 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ホームケアクリニック・原土井病院・諸岡歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

昔ながらの住宅地の中、建物はごく普通の平屋建てで、地域に溶け込んだ違和感のないものとなっている。入居者一人ひとりの得意なことや出来ることを把握し、役割づくりへの支援がなされており、利用者の穏やかにそして楽しそうにお話される姿から、日々、居心地良く過ごされている様子が伺えた。また、入居者同士、入居者と職員間での労わりあう声かけや対応から、日頃からお互いを認め尊重しあい、共に支えあうケアへの取り組みが伺えた。職員は、利用者が見せる様々な行動の背景に潜む原因や思いを把握しきめ細かなケアがなされている。認知症介護のプロとして、近隣の居住者の平均年齢が年々高くなっていく住宅地ということを見据え、運営推進会議や日常の近隣住民とのかかわりに留まらず、自治会や地域とのより一層の連携が期待できる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 今までは正社員間のみでの協議であったが、前回の外部評価を受けて、全員正社員として雇用し職員全員で様々な問題に対して協議したり、利用者の自発性を尊重するケアへの取組みなど、具体的な改善が見られた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の外部評価受審にあたり、職員全員で協議し、再確認を行うなどの取組みがある。
重点項目	運営推進協議会の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 自治会長、老人会長、民生委員、地域包括支援センター、近隣の住民、組長、家族等の参加により2ヵ月毎に運営推進会議が開催されている。運営推進会議時に、ホームの現状について報告・検討を行い、地域行事の情報を得ての参加、家族の自宅介護時の心境を語っていただくなど、運営推進会議を活かした取組みがある。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9) 面会時の面談や家族との連絡ノートの活用、その都度の電話連絡などを通じて、さまざまな内容について報告がある。また、家族向けの新聞の発行や6ヶ月に1度の日常スナップ写真の送付を通じて暮らしぶりを伝えるなどの取組みがある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入し、公園の草むしり、町内清掃、回覧板回し、散歩中の挨拶、公民館行事への見学など、地域に暮らす一員として地域との自然な関係づくりへ取り組んでいる。また、ホーム行事としての忘年会に近隣住民の方をお誘いするなど、地域の人々との交流に努めている。

2. 調査報告(詳細)

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	創設当初からの理念であるが、地域との関係 を考慮した理念である。ホームが真の意味での 地域密着となるのかを模索しながら、家族や地 域との自然な関係づくりに取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	玄関先に理念が掲示してあり、自然と目に入 る工夫がある。日常の業務や月に1度のミー ティング時に、自立支援に向けた指導が行われ るなど、理念の実践に向けた取組みがある。		
2 地域との支え合い					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活 動に参加し、地元の人々と交流すること に努めている	公園の草むしり、町内清掃、回覧板回し、散 歩中の挨拶、公民館行事への見学など、地域に 暮らす一員として地域との自然な関係づくりへ 取り組んでいる。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	今までは正社員間のみで協議していたが、前 回の外部評価を受けて、全員正社員として雇用 し職員全員での協議や利用者の自発性を尊重す るケアへの取組みなど、具体的な改善が見られ た。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	関係者を招いて2ヵ月毎に運営推進会議が開催されている。運営推進会議時に、ホームの現状についての報告と検討、地域行事の情報を得ての参加、家族の自宅介護時の心境を語っていただくなど、運営推進会議を活かした取り組みがある。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への地域包括支援センター職員の参加がある。また、地域包括支援センター職員からミーティング時に制度について講義をしていただくなど、運営推進会議以外での交流にも努めている。		
7 追加	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	スタッフミーティング時に、地域包括支援センター職員から制度についての講義を受けるなどの取り組みがある。家族等への制度についての周知を図る取り組みはこれからである。		事業所内のミーティング時のみでなく、運営推進会議等を利用して、地域包括支援センター職員から制度についての講義をしていただくなど、広く情報を発信し、繰り返しの制度説明を行ない、周知に努めていただくことを期待します。
4 理念を実践するための体制					
8 (7)	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時の面談や家族との連絡ノートの活用、その都度の電話連絡などを通じて、さまざまな内容について報告がある。また、家族向けの新聞の発行や6ヶ月に1度の日常スナップ写真の送付を通じて暮らしぶりを伝えるなどの取り組みがある。		
9 (8)	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の面談や家族との連絡ノートの活用、その都度の電話連絡、家族会などを通じて、家族の思いや意見等を表出するよう努めている。表出した意見等についてはミーティング時で協議するなどの取り組みがある。		
10 (9)	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年での職員の離職等はなく、管理者の交代のみであった。前管理者との引継ぎは1ヶ月かけて行い、利用者・家族にきちんと説明し関係を構築するなどの取り組みがある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 人材の育成と支援					
11	19 追加	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用に関して、何ら制限は設けていない。募集は法人として募集し、やる気や資質などの適正を考慮しての採用である。室内の装飾や家事等、職員の得手不得手に配慮した対応がある。		
12	20 追加	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	母体病院で行われる人権学習への参加を通じて、職員への人権教育や啓発活動への取り組みがある。		
13 (10)	21 (19)	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体病院で行われる勉強会への参加がある。また、新たに介護福祉士の資格取得者が出るなど、働きながらのトレーニングを実践している。		
14 (11)	22 (20)	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内系列事業所間における職員間の交流・連携は行われているが、系列以外の事業所との交流は今後の課題である。		グループホーム協議会への働きかけや系列以外の事業所との連携に取り組み、職員レベルでの見学や情報交換等を通して、質の向上に向けた取り組みを期待します。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15 (12)	28 (26)	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービス を利用するために、サービスをいきなり 開始するのではなく、職員や他の利用 者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家 族等と相談しながら工夫している	入居前の見学、希望による体験利用などを通 じて安心して入居後の生活に馴染めるような取 組みがある。新しい利用者に対しては、利用者 同士が自己紹介をしあい、お世話好きの入居者 と一緒にコミュニケーションを広げていくなど、雰囲気 に馴染む為の配慮がある。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16 (13)	29 (27)	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場 におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽 を共にし、本人から学んだり、支えあう 関係を築いている	昔の風習や唄を教えてもらったり、肩もみの 方法を教えてもらうなど、自然と学び共に支え あう関係づくりへの配慮がある。ミーティング 時の内容を利用者にも伝えるなど、利用者を尊 重した対応がある。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1 一人ひとりの把握					
17 (14)	35 (33)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、 意向の把握に努めている。困難な場合 は、本人本位に検討している	管理者と利用者との面談を通じて利用者本人 の気持ちを書いてもらうなど、利用者一人ひと りの思いや意見の把握に努めている。把握した 思いや意見はミーティング時に周知するなどの 取り組みがある。		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18 (15)	38 (36)	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要な関 係者と話し合い、それぞれの意見やアイ ディアを反映した介護計画を作成している	面談や連絡ノート等を通じて、本人・家族の 思いの把握がある。ミーティングにて利用者の 状況の確認や情報伝達等を行い、担当者会議に てケアプランについて協議されている。作成さ れたケアプランの家族への説明・同意・交付が なされていない。		作成されたケアプランの確実な、説明・同意・交 付を行っていただき、家族が主体的にかかわって いただくような仕組みと一層の連携を期待します。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19 (16)	39 (37)	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行う とともに、見直し以前に対応できない変 化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな 計画を作成している	3ヶ月毎及び状況変化に応じたケアプランの 見直しと作成が行われている。また、月に1度 のミーティングで、利用者一人ひとりの現状に ついての確認と情報伝達が行われている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
20 (17)	41 (39)	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に 応じて、事業所の多機能性を活かした柔 軟な支援をしている	医療連携体制を利用した緊急時の対応や往 診、訪問看護の利用、家族対応が無理な場合の 今までのかかりつけ医の受診対応など、柔軟な 支援がある。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21 (18)	45 (43)	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医療を受けられ るように支援している	契約時に説明を行い、ホーム協力医が今まで のかかりつけ医を自由に選ぶことができる。 いままでのかかりつけ医への受診は家族対応が 基本であるが、状況に応じてホーム対応での受 診がある。また、緊急時はホーム協力病院に搬 送されるなど、状況に応じた支援がある。		
22 (19)	49 (47)	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、できるだけ早い段階から本人や家 族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応指針として契約時に説 明し、家族の意向の把握はしているも、記録と 職員間の共有にまでは至っていない。また、本 人の意向の確認はこれからである。		センター方式の利用に着手され、本人・家 族の意向の確認と職員間での共有に努めら れ、今後予想される状態変化に応じた話しあ いや、本人・家族の希望に沿った支援体制作 りに努めていただくことを期待します。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23 (20)	52 (50)	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損 ねるような言葉かけや対応、記録等の個 人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりの視線に合わせた声かけや 対応が見受けられた。入居者同士、入居者と職 員間での労わりあう声かけや対応などから、日 頃のケアのありがたが伺えた。記録等は決めら れた場所で、きちんと保管されていた。		
24 (21)	54 (52)	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	生活の流れの中でメリハリをつける意味での 決まりはあるが、食事にかかる時間、食後や日 中の過ごし方など、入居者のペースを尊重した 対応が見られた。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25 (22)	56 (54)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利用 者と職員と一緒に準備や食事、片付けを している	入居者と職員と一緒に食事をとっており、和 やかな雰囲気であった。テーブル拭き、下膳、 食器洗いなど、利用者一人ひとりのできるこ とを支援しながらの対応が見受けられた。		
26 (23)	59 (57)	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてし まわずに、一人ひとりの希望やタイミ ングに合わせて、入浴を楽しめるように支 援している	週に2日の入浴日の設定であるが、その時々 の希望や状況に応じて入浴ができる。午後から の入浴が可能であり、入浴にかかる時間やタイ ミングなど希望に沿った対応がある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27 (24)	61 (59)	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、楽しみごと、気晴らしの支援 をしている	歌を唄っていただいたり、居室の掃除、洗濯 物たたみ、下膳、テーブル拭きなど、入居者一 人ひとりの得意なことや出来ることを把握した うえで、役割づくりへの支援が見られた。		
28 (25)	63 (61)	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひ とりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援している	気候の良い時の散歩、公園の掃除、地域行事 の見学、ショッピング、月に1度のホーム行事 としての外出と外食など、利用者の希望にそつ た対応がある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29 (26)	68 (66)	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでい る	基本的に日中は開錠しているが、職員の見守 り状況に応じて短時間の施錠を行っており、家 族への説明・同意は得られている。職員は施錠 することの弊害を十分理解しており、行動の背 景に潜む原因を把握しての対応がある。		
30 (27)	73 (71)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身に つけ、日ごろより地域の人々の協力を得 られるよう働きかけている	日常の近隣住民とのかかわりを通じて、近隣 住民との連携は図られているが、避難訓練など への取組みは行われていない。		何かあった時に慌てずに対応できるよう、 地域住民の協力を得ての避難訓練に取り組ん でほしいと思います。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31 (28)	79 (77)	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	食事は配食サービスの利用である。食事及び 水分摂取量をチェックし、目の前で食べやすい 大きさに切ったり、意識的に声かけを行うな ど、バランスや水分不足に配慮した対応があ る。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32 (29)	83 (81)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	民家改造型のホームであり、建物自体が地域 に溶け込んでいる。ホーム内は、季節を意識し た装飾がほどこされ、リビングから続く庭先 には洗濯物や布団が干されており、一般家庭 そのものであった。空調はドライを上手く 利用し、快適であった。		
33 (30)	85 (83)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、本人が居心地 よく過ごせるような工夫をしている	数名の利用者の居室を見学させていただき、 各居室とも利用者一人ひとりの人となり が伺える居室となっていた。見学に際 しては快く迎え入れてくださり、穏や かにそして楽しそうにお話される様 から、日々、居心地良く過ごされて いるのが伺えた。		

 は、重点項目。
(数字)は、国の標準例による番号